

ヘルシーなごや



HEALTHY NAGOYA

- 「ヘルシー仲間」**光輝く子供達と生涯剣道を**
 - 「健康チェック」**名古屋市のがん検診を利用しましょう**
- 果たして子宮頸癌は予防できるのか? —
- 新しい子どものワクチン**
— ヒブワクチンと肺炎球菌ワクチン —
- 子宮頸癌とヒトパピローマウイルス、**
そしてワクチン登場!

45号
平成22年 秋号

発行所/名古屋市医師会
 発行人/細川 孝
 名古屋市東区葵1丁目4番38号
 TEL 052-937-7801
 ©名古屋市医師会
<http://www.nagoya.aichi.med.or.jp/>



今後も誌面を通じて、健康に関して簡単にわかりやすく紹介してまいりたいと思いますので、ご一読いただきご意見・ご感想をお聞かせいただければ幸いです。

夏もそろそろ終わりを告げる季節となりますが、これまでの疲れを残さないようにご留意ください。もし、不調を感じたときはお気軽に「かかりつけ医」にご相談ください。

名古屋市民の皆様、まだまだ暑い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。

「ヘルシーなごや」は市民の皆様が毎日健康にお過ごしいただくための情報をたくさん盛り込んだ、名古屋市医師会の広報誌です。

今回の「ヘルシーなごや45号」では、藤田保健衛生大学小児科学教授吉川哲史先生に小児の予防接種関連について、また、名古屋大学大学院医学系研究科准教授那波明宏先生に成人の予防接種についてわかりやすく紹介していただきましたので是非参考にしてください。



名古屋市医師会会長
細川 孝

名古屋市医師会休日急病診療所/夜間・深夜急病センター 改築に伴う一時移転のご案内

名古屋市医師会休日急病診療所/夜間・深夜急病センターは建替えのため、**仮診療所**において業務を行います。

【広報なごや(平成22年6月号)にて、すでにご案内しております。】

〈移転期間〉
平成22年7月1日～平成24年6月30日
(予定)

〈仮診療所所在地〉
名古屋市東区代官町39-15(下記地図参照)
☎052-937-7821(電話番号は変わりません)



診療日及び受付時間・診療科目 ※診療開始時間は、受付時間の30分後からとなりますのでご注意ください。

診療日、診療科目	受付時間				夜間・深夜帯			
	9時30分	12時	13時	16時30分	17時30分	19時30分	20時30分	翌朝6時
平日(祝日は除く)	内科・小児科							
土曜	内科・小児科							
日曜・祝日(年末12/30～年始1/3含む)	内科・小児科							
	眼科							
	耳鼻咽喉科							

掲示期間 平成24年6月末日

〔 〕は小児科専門医 診療時間帯

2010年6月作成

名古屋市医師会ホームページ

<http://www.nagoya.aichi.med.or.jp/>

「医療機関検索サイト」をご利用ください

この名古屋市医師会医療機関検索システムは名古屋市内約1,700医療機関の所在や電話番号、診療科目、診療時間等を検索することができます。



新しい子どもものワクチン

—ヒブワクチンと肺炎球菌ワクチン—

藤田保健衛生大学医学部小児科

吉川哲史



よしかわ てつし
 1986年 3月 藤田保健衛生大学医学部卒業
 1986年 6月 藤田保健衛生大学小児科研修医
 1988年 4月 藤田保健衛生大学大学院医学研究科博士課程(小児科)
 1992年 3月 学位取得
 1992年 4月 藤田保健衛生大学小児科研究員
 1993年 4月 米国FDA, visiting fellow(留学)
 1995年10月 藤田保健衛生大学小児科、講師
 1999年 7月 名古屋大学医学部附属病態制御研究施設
 2002年 8月 ウイルス感染研究部門、助教授
 2002年 9月 藤田保健衛生大学医学部小児科助教授(准教授)
 2010年 4月 藤田保健衛生大学医学部小児科学講座、主任教授



1 はじめに

子どもの予防接種には、定期接種と任意接種の二種類があります。定期接種は、接種にかかる親御さんの費用負担はありませんが、任意接種の場合は接種費用を個人で負担しなければなりません。いわゆる麻疹・風疹ワクチン(MR)ワクチンや三種混合ワクチン(ジフテリア、破傷風、百日咳)などは定期接種ですが、本稿で取り上げるヒブワクチンや肺炎球菌ワクチン(肺炎球菌ワクチン)には、以前からお年寄りに使われてきたニューモバックスと、今回子ども用に開発されたプレベナーがあります。以後本稿で述べる肺炎球菌ワクチンは、子ども用のワクチン、プレベナーを指します。は任意接種のワクチンに含まれます。それぞれかなりの接種費用がかかるため、名古屋市で今秋から始まる公費負担制度のようなシステムがないと、皆さんが積極的に接種をうける状況にはならないと思います。しかし忘れてはいけません。

2 肺炎球菌感染症とヒブ(Hib, b型インフルエンザ菌)感染症とは?

肺炎球菌は、健康な人の気道にも存在する常在菌の一つです。特に免疫力の弱い乳幼児においては、鼻の穴の中に肺炎球菌が定着しやすく、そのような人たちが他の子ども、お年寄りへの感染が起こり肺炎球菌感染症につながります。免疫力が低下しているような子どもでは菌が血中へ侵入し、いわゆる侵襲性肺炎球菌感染症(IPD)Ⅱ重症の肺炎球菌感染症に進展します。なかでも問題となるのは細菌性髄膜炎で、速やかに診断し適切な治療を開始しないと、現在でも亡くなってしまうこともあります。年齢別の重症肺炎球菌感染症の内訳を見ますと、**図1**に示すように子どもとお年寄りでは、我が国で任意接種とされているヒブワクチンや肺炎球菌ワクチンを含む多くのワクチンが、いずれもすでに欧米各国、場合によっては発達途上国でさえ定期接種化され目覚ましい効果を挙げているのです。

3 肺炎球菌ワクチンとヒブワクチン

肺炎球菌は前述のように莢膜を被っていますが、その表面構造から90種類以上の型に分類されます。肺炎球菌ワクチンとしては、お年寄りに重い病気を起こす23種の型に対する莢膜抗原を含む肺炎球菌莢膜多糖体ワクチン(ニューモバックス)が主にお

年寄りの肺炎球菌感染症予防に使用されてきました。しかし、2歳未満の小児では免疫応答が未熟なためそのワクチンを打っても十分な免疫が得られません。そこでこの点を解決するために、莢膜抗原にキャリアー蛋白を結合させたワクチンであるプレベナーが開発されました。このワクチンは、2歳未満の子どもにも強力に免疫を誘導する効果があります。現在、世界101カ国で使用され、米国や英国を始めとして24カ国で定期接種化されました。一方のヒブワクチンも、ヒブの莢膜

4 肺炎球菌ワクチンとヒブワクチンの効果

先に肺炎球菌ワクチンの定期接種化が進んでいる欧米の成績を見てみると、ワクチンの定期接種化に伴い細菌性髄膜炎を含む重い肺炎球菌感染症の発生頻度が急に減り**(図4)**、肺炎球菌性肺炎の入院患者さんの数も減少することが明らかとなっています。米国における肺炎球菌ワクチン導入に伴うもう一つの特筆すべき効果として、ワクチン接種を受けていないお年

抗原をキャリアー蛋白に結合させ免疫を誘導する能力を高めています。それによって、ヒブ感染の主な標的となる赤ちゃんにも有効な免疫ができるようになっていきます。このワクチンも世界中で広く使われており、定期接種化が進んでいる国々ではヒブによる細菌性髄膜炎がなくなっている状態です。

5 ワクチンの接種に際して

肺炎球菌ワクチンもヒブワクチンもいわゆる不活化ワクチンの部類に入ります。しかし、おたふくかぜ、風疹、水ぼうそうのワクチンなどはいずれも弱毒生ワクチンで、基本的に1回の接種で十分な免疫を得ることができま

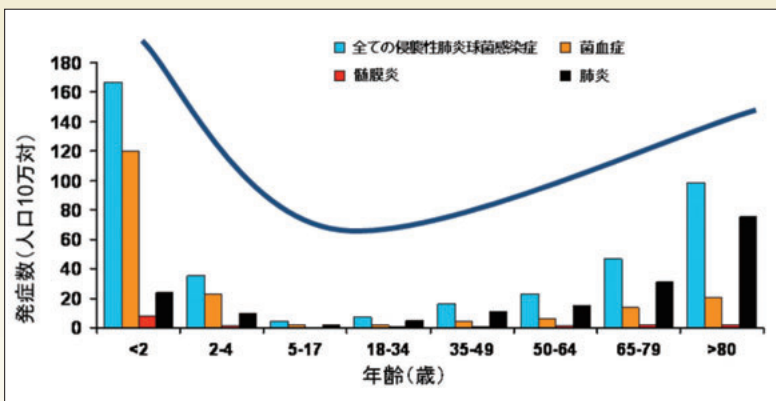


図1 年齢毎の侵襲性肺炎球菌感染症(重い肺炎球菌感染症)の各病型毎の頻度
 注: 菌血症(血液から細菌が分離される状態) Robinson KA, et al.: JAMA 285:1729, 2001 から引用

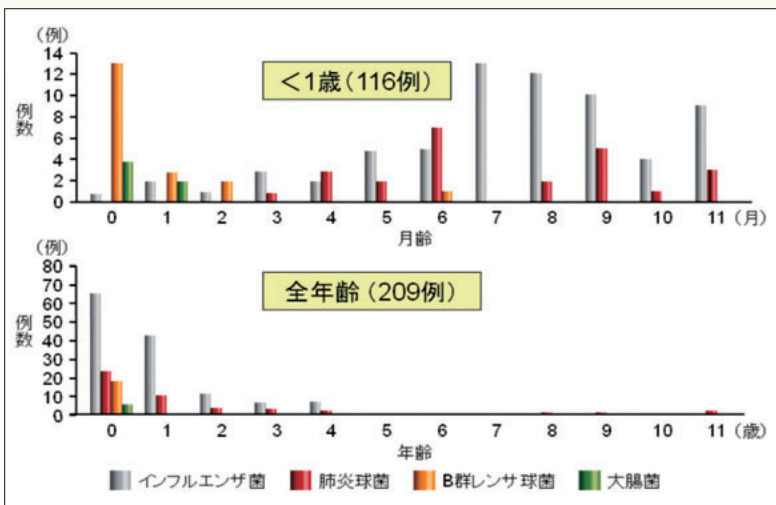


図2 子どもの細菌性髄膜炎の年齢別起因菌
 砂川慶介ほか: 感染症学雑誌 82(3):187, 2008 から引用



図3 肺炎球菌の電子顕微鏡写真
 (血清型 19F, 写真はRob Smith (Wyeth)による) 周囲の灰色の部分莢膜と呼ばれる殻の部分

なわ あきひろ
 1986年 3月 岡山大学医学部医学科 卒業
 1991年 3月 名古屋大学大学院医学系研究科産婦人科学 修了
 1994年 3月 University of Texas, M.D.
 Anderson Cancer Center, 留学
 1999年12月 名古屋大学医学部産婦人科 講師
 2000年 7月 愛知県がんセンター中央病院婦人科部 医長
 2005年 6月 名古屋大学大学院医学系研究科産婦人科学 助教授
 (現 准教授)



名古屋大学大学院医学系研究科
 発育・加齢医学講座産婦人科学 准教授

那波明宏



子宮頸癌とヒトパピローマウイルス、 そしてワクチン登場！ —果たして子宮頸癌は予防できるのか？—

1 はじめに

ワクチン療法は、各種のウイルス感染の蔓延予防に貢献してきました。最近では、口蹄疫の問題がマスコミを賑わせておりますが、この感染の拡大を食い止めるためにもワクチンが利用されています。さて、ヒトパピローマウイルス(human papilloma virus: HPV)が多くの子宮頸癌の重要な発癌因子であることを、HPVと子宮頸癌に関する研究が明らかにしてきましたが、HPVの子宮頸部への感染を予防するためのワクチンが医療市場にでてくるにあたって、子宮頸癌は、「予防できる癌」という可能性が出てきました。まさにHPVと子宮頸癌の研究は、研究室から臨床応用される時代に突入した感があります。本稿では、子宮頸癌とHPVを取り巻く現状について概説したいと思います。

2 ヒトパピローマウイルス (HPV)とは

ヒトパピローマウイルス(human papilloma virus: HPV)は、キャブシンドと呼ばれる外被タンパク質に囲まれた、一群の小型DNA腫瘍ウイルスです(図1A)。現在130種類以上のHPVがDNA検査で報告されています。子宮頸癌に関連する、いわゆるハイリスク型は15種類、ハイリスクの

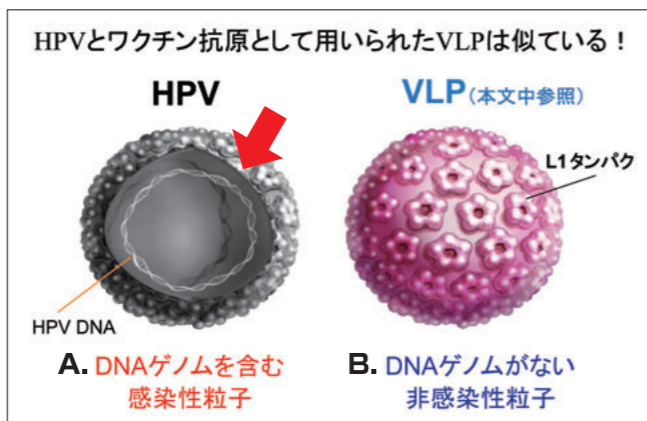


図1

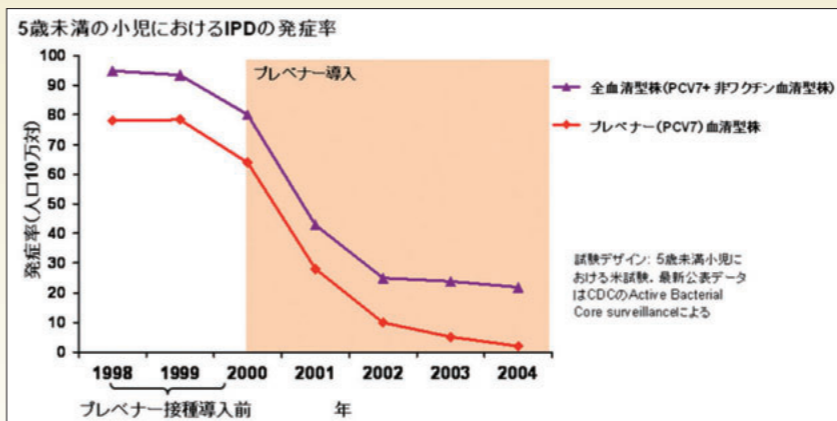


図4 5歳未満の子どもの重症肺炎球菌感染症に与えるプレベナー導入の効果
 Hicks LA, et al.: J Infect Dis 196:1346, 2007 から引用

す。しかしながら不活化ワクチンは1回の接種だけでは十分な免疫を得ることができず、一般的に3回のワクチン接種(約1ヶ月間隔)で基礎免疫をつけ、その後約一年で再度ワクチン接種を受ける必要があります。皆さん思い出してください。三種混合ワクチン(ジフテリア、破傷風、百日咳)はこのようなスケジュールで受けたと思えます。よって、肺炎球菌ワクチンもヒブワクチンも同じように生後2カ月以降なるべく早い時期から、上記のようなスケジュールでワクチン接種を受ける

のが基本です。なぜなら、これら二つの菌による細菌性髄膜炎のリスクは、生後2カ月から1歳頃が最も高いのです。よって、高価なワクチン接種の回数が減るから1歳まで待ってから接種を受けようというのでは本末転倒です。皆さんなるべく基本に沿ったスケジュールでワクチン接種を受けるようにしてください。

次に問題となるのが同時接種です。このようにいろいろ新しいワクチン接種を受けられるようになると、病院に行く回数もなるべく減らすためには同時接種をするしかありません。我が国ではなじみは少ないですが、欧米ではワクチンの同時接種は一般的なことで多くの実績があります。ですので、同時接種をむやみに恐れる必要はありません。かかりつけの先生の説明を良く聞いてトライしてみてください。将来的にはこれら多くのワクチンを混ぜることによって、一回のワクチン接種で複数の病原体に対する免疫を獲得することができるようになるはずですが、欧米では、既に数多くのそのような混合ワクチンが導入されていますが、残念ながらわが国ではまだ十分ではありません。先の定期接種と同様、この点も我が国の予防接種を改善してゆく上で重要な課題だと思っています。

6 ワクチン接種のスケジュールについて

今回ご紹介した肺炎球菌ワクチンや

ヒブワクチンをはじめとして、その他の任意接種ワクチン、おたふくかぜや水ぼうそうのワクチンもしっかり受ける必要となります。どの順番で接種を受けたらよいか皆さん疑問に思うかもしれません。標準的なワクチンの接種時期が定められていますので、それに従って接種を受ければ良いわけですが(国立感染症研究所感染症情報センターホームページを参照)、いくつかの注意点を挙げたいと思います。

前述したように、

●肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチンは、接種回数が1回で済むからと言って1歳まで待つのは望ましくありません。できるだけ早い時期、生後3カ月ごろから接種を開始してください。

●さらにこれら二つのワクチンや、三種混合ワクチンはいずれも不活化ワクチンですので、初年度1か月間隔で3回ワクチンを接種し、1年後に免疫をより強固なものにするため再度ワクチン接種を受ける必要があります。この接種間隔は重要で、できるだけ正確な接種間隔を守ってください。特に1年後の追加接種は大切で、これを忘れるとせっかく受けた初年度のワクチン接種が無駄になってしまいます。

●定期接種のMRワクチンは、1歳になつたらなるべく早い時期に受けてください。また、おたふくかぜや水ぼうそうのワクチンも、それに引き続き受けるのが最適です。なるべく肺炎球菌

ワクチンやヒブワクチンもそうですが、これらのワクチンはいずれも託児所や保育園に入る前に受けておくといでしょう。

このような基本的な知識を持った上で、かかりつけの先生に相談し効率よくワクチン接種を受けて下さい。

7 まとめ

昨今、海外で定期接種化されていないが我が国で導入されていないワクチンが相次いで使用可能となりつつあります。しかしながら、水ぼうそうやおたふくかぜといったこれまで任意接種ワクチンとして長年接種されてきたワクチンも含め、当面すぐに定期接種化される気配はありません。しかしながら、いずれのワクチンも定期接種化により全ての子ども達が恩恵を受けることが理想であり、1日も早くそのような全ワクチンの定期接種化が可能となることを望んでいます。ワクチンで防ぐことができる病気は、自然にかかるよりは是非予防接種で免疫をつけてからないようにしてください。これは軽い病気であっても、ある程度の割合で重い合併症を伴う危険があるわけですから当然のことと思います。ご両親も、是非かかりつけの小児科の先生から正しい情報を得て、積極的に予防接種に取り組んでいただきたいと思います。

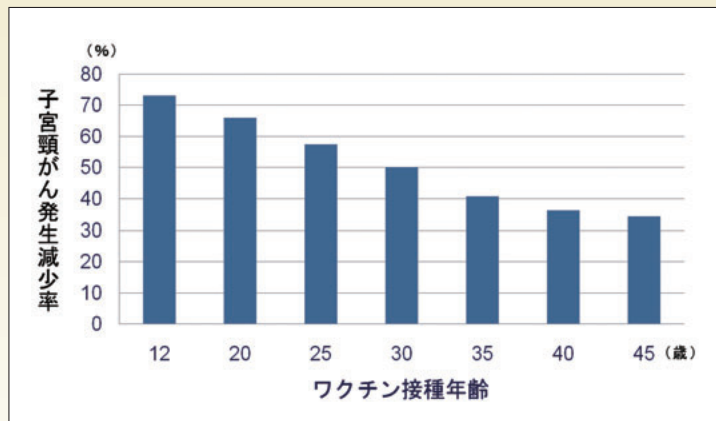


図5

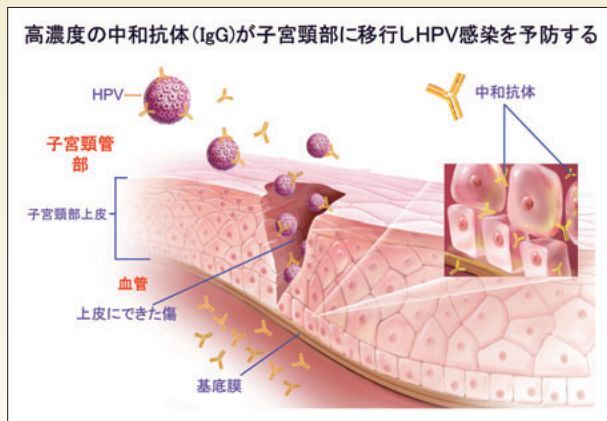


図4

HPV ワクチン	
HPV 16/18 ワクチン	HPV 6/11/16/18 ワクチン
Glaxo-Smith-Kline	MSD (Merck)
HPV 16/18 型	HPV 16/18 型 + HPV 6/11 型 (コンジローマの原因)
Proprietary adjuvant system AS04 昆虫細胞	Classic adjuvant aluminium 酵母細胞
0, 1, 6 ヶ月 20µg16L1, 18L1 VLP	0, 2, 6 ヶ月 20µg6L1, 18L1 VLP 40µg16L1, 11L1 VLP
女性 15-25 歳 4, 5年追跡調査 (終了2005年)	男・女性 16-23 歳 35 ヶ月追跡調査 (終了2005年)

表1

さて、最新の報告によると、この「サーバリックス」はHPV感染予防効果に対して、すぐれた有効性を示しています。「サーバリックス」を使用した場合は、新たなHPV16/18の検出はなく、HPV16/18の感染防止という点からみて100%の有効性を示しました。さらに近縁関係にあるHPV31、45とのクロスプロテクション(交差予防効果)が認められ、類縁HPVに対しても感染予防効果が期待されています。

さて、最新の報告によると、この「サーバリックス」はHPV感染予防効果に対して、すぐれた有効性を示しています。「サーバリックス」を使用した場合は、新たなHPV16/18の検出はなく、HPV16/18の感染防止という点からみて100%の有効性を示しました。さらに近縁関係にあるHPV31、45とのクロスプロテクション(交差予防効果)が認められ、類縁HPVに対しても感染予防効果が期待されています。

5 HPV感染予防ワクチン 使用後に子宮癌検診 システムはどう変わるか?

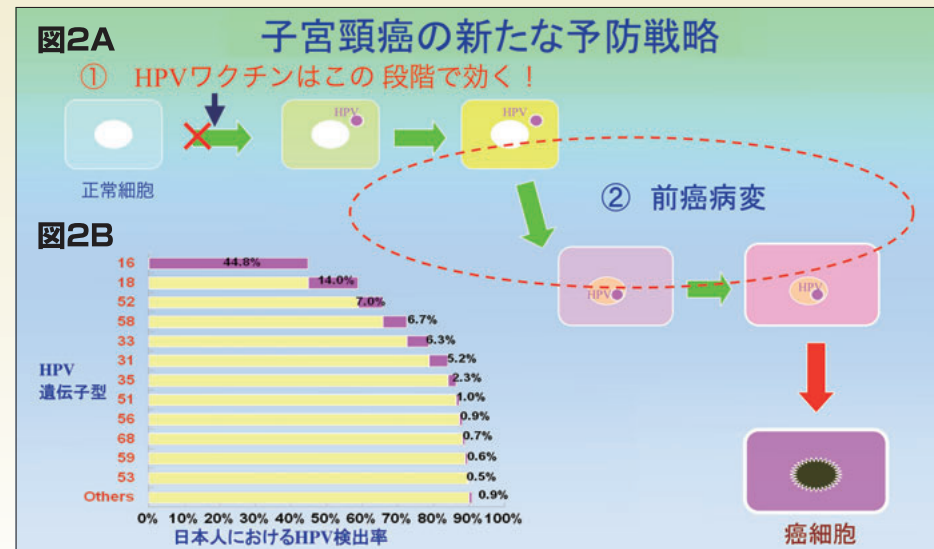
通常の子宮頸癌スクリーニング検査である細胞診においては、中程度異形成以上の病変を検出する検出感度は、50%~70%程度であり、決して高いものとはいえません。一方、HPV DNA検査の検出感度は、85%以上ですが、特異性に関しては細胞診より劣っています。これがHPV DNA検査が細胞診に取って代われない理由の一つになっています。これらをつまえた上で、HPV感染予防ワクチンが臨床の場へ導入されるにあたって、どのような検診法が効率のよいものとして今後推奨できるのかについて考えてみたいと思います。最近、日本、米国より様々な子宮頸癌スクリーニング法に対してのシミュレーション結果が報告されています。それによると、①ワクチン接種を行わない場合では、a:21歳までに3年毎の子宮頸癌スクリーニングを細胞診で開始し、「細胞異型はあるがはっきり診断のつかない意義の不明な細胞診結果」に対してはHPV DNA検査で追跡する。b:30歳以降はHPV DNA検査を先行させ、ハイリスク型HPV陽性例に対しては細胞診にて経過を追

う。②12歳前にワクチン接種を行った場合は、a:25歳から3年毎の細胞診を開始し、「細胞異型はあるがはっきり診断のつかない意義の不明な細胞診結果」に対してはHPV DNA検査で追跡する。この場合、b:35歳以降はHPV DNA検査を先行させ、ハイリスク型HPV陽性例に対しては細胞診にて経過を追う。

このようにすれば、全年齢の女性に対して、1~2年毎に細胞診単独、或いは、細胞診及びHPV DNA検査を併用するのに比べて、対効果、対費用効果の観点から、明らかに有効であろうと予測されています。また、このワクチンを使用した場合、将来の子宮頸癌の発生件数や死者数を約73%減らす事が可能であり(図5)、社会的に観ますと、約190億円(12歳の単年齢集団に接種された場合)、さらに約430億円(10~45歳の多年齢集団に接種された場合)の医療経費を削減できることが示唆されています。

6 おわりに

欧米では、特に白色人種において、子宮頸癌検診受診率が非常に高く、一方、先進国とされる我が国では30%にも満たないのが現状です。子宮頸癌の原因としてHPVが発見されてから27年が経過するにあたり、ようやくその



可能性の高い型として3種類が同定されています。わが国では、特にハイリスクHPV16、18、52、58型が子宮頸癌からの検出が高いとされています(図2B)。しかしここで注意していただきたいのは、これらハイリスク型HPVが検出されたからといって、直ちに、感染者全員が子宮頸癌を発症してくる訳ではありません。一方では、30才以上で、子宮頸部の細胞診結果が異常を認めない女性の場合、もしハイリスク型HPVが検出されなければ、3~5年以内に高度異形成という、癌の一手手前まで進む可能性は極めて低いとされています。

3 子宮頸癌の最近の動向

さて、子宮頸癌はがん検診による早期発見で減少傾向にあるものの、わが国では年間15000人が発症し、3500人が死亡している疾患です。最近の子宮頸癌統計から指摘されることは、最近20~30歳代の死亡率が急増している点であり、さらに1991年から10年間で35~39歳では死亡率が2倍になっていきます(図3)。この現象に若年者のHPV感染が関わっているかについては現在のところ不明ですが、HPV感染は若年者を中心に性交渉を通じて広く蔓延しており、WHOの推定によれば、全世界で年間約3億人の

HPV感染キャリア(持続感染者)が存在するとされています。HPV感染後、80~90%近くの感染者はHPVに対する免疫応答によりウイルスが排除されると考えられます。残りの10~20%の感染者が12~18ヶ月でいわゆる「持続感染」となり、子宮頸部検査において常にHPVが検出される状態になります。子宮頸癌やその前駆病変は、この持続感染者から発生すると考えられています。

4 ワクチン開発

これまでの、子宮頸癌予防戦略は、子宮頸癌スクリーニングを奨励することにより、前癌病変の段階で発見し、適切な対応を取ることが世界中で行われてきました(2次予防)。これに対して、図2Aにお示しましたように、ワクチン開発により、子宮頸癌の原因であるHPVの感染自体を、ワクチンで予防するという戦略が可能になってきたのです(1次予防)。

昨年、日本で認可されたHPVワクチンは、「サーバリックス」(GSK社)というものです。これは、HPV16或いは18のL1蛋白から構成される外殻粒子(あたかもウイルスの外殻を模倣しているため「VLP: Virus like particle」「ウイルスライクパーティクル」と呼ばれます)を抗原として作

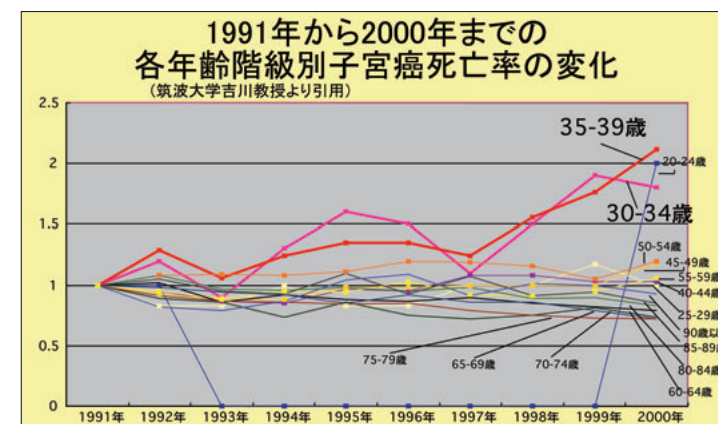


図3

られています(図1B)。このワクチンにより誘導された、高濃度の血清中抗HPV16/18の抗体(中和抗体)が、子宮頸部粘膜より滲出し、ウイルスの感染をブロックすると考えられています(図4)。サーバリックスは原則として、HPV16、18型の二種類の感染予防に対応していますので2価ワクチンと呼ばれています。このワクチンを初回、1ヶ月後、6ヶ月後の3回接種します。一方、もう一つのHPV6、11、16、18型に対する4価ワクチン(ガーダシル:メルク&コリン)は現在承認を待っているところです(表1)。



光輝く子供達と生涯剣道を



東山スポーツ少年団

平成5年に発足し、今年で17年目を迎えました。15名の団員でスタートした東山スポーツ少年団は、現在90名を超える団員達と日々楽しく活動しています。主活動の剣道を通し、自然に礼儀作法を学び、心身を鍛え、我慢強く思いやりのある子供達に育っています。焦らず、休まず、元気よく学ぶことが、強くそして

立派になる為の一番の近道と信じ、剣道鍛錬に励んでいます。

また、幼児から一般までの幅広い年齢層の団員が所属しており、夏のキャンプ、クリスマス会、運動会等を企画し、縦横の交流も大切にしてあります。そんな活動の中で子供達は、自分の居場所を見つけたり、多様な価値観を持つ人と交流したり、日々豊かな恵みをもたらす自然と関わったりしながら、心豊かに力強く生きていく為の力を備え持つと信じています。すなわち、世の中、自然、生活、人々と結びついた「大きな学力」の形成に繋がると考えています。

集団生活の中でアタッチメントを育み、様々な場で一人一人が主体的体験をする中で、目標を持ち挑戦する力、関係を深め広げる力、豊かな感情、思考力、生きて使う知識や技術、体力を身につけてくれる事を願い指導にあたっています。家庭、学校、地域社会という大きな枠組みの中で、家庭は心の基地、学校は人間的触れ合いの場、社会は関係を広げ深める場であるという考えに立ち、今後もキラキラ輝く子供達の目をしっかり見つめ、守りながら、子供達の応援団として努力を重ねて参りたいと思っています。

(団長 松井満男)
(事務局:中村 ☎052-793-2629)

名古屋市のがん検診を利用しましょう



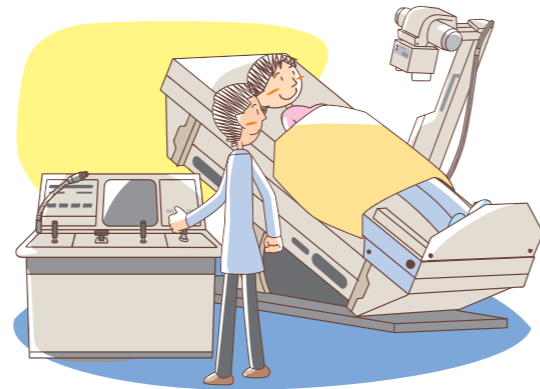
名古屋市では、がんの早期発見・早期治療を目的として、勤務先などでがん検診を受診する機会のない市民の方を対象に、市内の協力医療機関および保健所において、各種がん検診を実施しています。

従来から行われている胃がん、大腸がん、肺がん・結核検診、乳がん、子宮がん検診のほかに、6月から前立腺がん検診も受けていただけるようになりました。

胃がん、肺がん・結核検診、乳がん検診はX線を用いた検査です。対象は40歳以上ですが、乳がん検診は1年おきにしか対象になりません。

大腸がん検診は専用容器にてご提出いただいた便の潜血反応を検査します。対象は40歳以上です。

子宮がん検診は内診および子宮頸部細胞診検査を行います。20歳以上の女性で、乳がん検診と同様、前年度に子宮がん検診を受診していない方が対象です。



新しく始まった前立腺がん検診は血液検査で判定します。50歳以上の男性が対象です。

今年度の自己負担金は各検査ごとに500円です。(自己負担免除の方もあります。)もちろん実際の検査経費はもっとかかります。協力医療機関がボランティアで500円で行うのではなく、差額必要経費は名古屋市が負担しているものです。従って皆様のがん検診の結果は名古屋市に報告されます。保健所から、検診後の精密検査の結果のお問い合わせなどがある場合があります。ご了承ください。

任意予防接種助成事業(新規)の概要

区分	対象 (名古屋市民)	接種回数	自己負担額	開始時期
水痘(みずぼうそう)	1歳~小学校就学前の幼児	1回	3,800円	平成22年 8月1日
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1歳~小学校就学前の幼児	1回	3,000円	
細菌性髄膜炎(ヒブ)	0歳児 1歳児	4回	13,200円 (@3,300円×4回)	平成22年 10月1日
高齢者の肺炎球菌	65歳以上の方	1回	4,000円	
子宮頸がん	中学1年生と2年生の女子	3回	なし	

(名古屋市)

主要国の公費負担について

	優先接種対象	キャッチアップ接種対象	承認時期	公費負担が決まった時期	公費負担開始時期	費用の出所
オーストラリア	12~13歳女子 学校での接種	13~18歳女子学生、19~26歳の女性 (2年間のキャンペーン)	2006年6月: ガーダシル 2007年5月: サーバリクス	2006年11月	2007年	国庫負担 (予防接種プログラム)
アメリカ	11~12歳女子	9~10歳女子(医師が必要と判断した場合)、 13~26歳の女性 (既に性交渉の経験がある女性、パップテストで異常が認められた女性、発癌性HPVに感染している女性も含む)	2006年6月: ガーダシル	2006年11月	2006年11月	子供のためのワクチンプログラム(VFC) (低所得者の子供を対象としたファンド:実際には全米の対象の子供の45%を占める)
イギリス	12~13歳女子	18歳まで (2年間のキャンペーン)	2006年9月: ガーダシル 2007年9月: サーバリクス	2008年6月	2008年9月	国庫負担 (予防接種プログラム)
ドイツ	12~17歳女子	なし	2006年9月: ガーダシル 2007年9月: サーバリクス	2007年	2007年	医療保険 (100%保険負担)
フランス	14歳女子	15~23歳(性交渉前か初交から1年以内の女性)	2006年9月: ガーダシル 2007年9月: サーバリクス	2007年	2007年	医療保険 (保険負担は65%) (残りは、民間保険が出している場合が多い)

表2

なるのでしょうか?など、周辺の諸問題の整備について議論し、解決していかなければならないでしょう(13~14歳のワクチン接種に対しては、政令指定都市としては初めて、名古屋市において、2010年10月から全額負担されることと決定しています。河村市長の英断によるものであり、高く評価したいと思います。参考までに各国での公費負担の状況を表2に示します。)

また、くれぐれも留意したい点として、このワクチンは新規のHPV感染をブロックすることで、子宮頸癌の発症因子を除き、子宮頸癌を予防していることとするものであり、直接的な子宮頸癌の予防ワクチンではないことです。換言すれば、既存のHPV感染や子宮頸部病変に対しては治療効果もありません。しかも、今回発売されたワクチンは、HPV16/18に対する2価ワクチンであり、ある程度のクロスプロテクション能はあるにしても、今後このワクチンで中和されない他のハイリスク型HPVの蔓延によって、予想されている程には子宮頸癌の発症が減少しない可能性も考えられます。そのため、その結果を見極めるまでは、今以上に、子宮頸癌検診が重要になってくることを忘れないでください。

感染予防ワクチンが臨床の場に登場してきました。まさに、研究室での研究成果が臨床の場で結実されようとしています。しかし、実際のワクチンを使用するにあたって、普及率を上げる

ための工夫はどうすればよいのでしょうか?ワクチンの費用は自費になるのでしょうか?子宮頸部病変を経過観察していく際、HPV DNA検査が必要と考えますが、その検査は保険適応に

テレビ番組「健康ワンダフル」放映中!!

愛知県医師会では、主に高齢者の皆様方の健康維持促進のため、テレビ番組「健康ワンダフル」を放映しております。毎回現場の先生方に分かりやすく解説して頂いております。是非ご覧下さい。

放映予定表

※予定表の内容は、予告無く変更することがございます。

8/27 ●内容: **おしえてよ! 子宮頸がんワクチン**

●出演者: 吉川史隆 (産婦人科)

9/24 ●内容: **減量外科: 肥満とメタボリックシンドロームに対する最近の外科治療**

●出演者: 川辺則彦 (外科)

10/29 ●内容: **(美容) 皮膚科で治療する「しみ」治療**

●出演者: 秋田浩孝 (皮膚科)

11/26 ●内容: **感染症とワクチン**

●出演者: 大西正純 (小児科)

テレビ愛知にて
(チャンネル 25)

毎月最終金曜日
午前 8:30~9:00



健康教育講座のご案内

愛知県医師会では、一般の方々の健康増進をお手伝いするため、標記講座を毎月開催しております。

会場/愛知県医師会館 9 階大講堂 名古屋市中区栄 4-14-28 (地下鉄「栄」13 番出口 (中ビル前) より南へ徒歩 5 分)

参加無料・申込不要・どなたでも自由にご入場いただけます。

- 講座スケジュール 14:00~14:30 健康ワンダフル再放送 放映
14:30~15:30 講演 *都合により予告無く変更する場合があります。
15:30~16:00 質疑応答 *9月18日(土)はあいち健康プラザにて開催

開催日	講演テーマ	講師	担当医会
8月31日(火)	骨と筋肉を元気に、そして心も元気に! ~ロコモティブシンドローム(ロコモ)って、知っていますか?~	水谷病院副院長 水谷 陽子	女医会
9月 1日(水)	酒は百薬の長か、酒は百毒の長か	西山クリニック院長 西山 仁	精神科医会
あいち県民健康祭 9月18日(土)	新たな国民病「慢性腎臓病(CKD)」 ~あなたの腎臓を守る生活・食事について~	名古屋大学医学部 CKD 地域連携システム講座准教授 安田 宜成	内科医会
10月12日(火)	ヒヤリ・ハット事例から学ぶ食物アレルギー対策	藤田保健衛生大学医学部小児科准教授 近藤 康人	小児科医会
11月 5日(金)	脳卒中(脳梗塞、脳出血、クモ膜下出血)の危険な落とし穴	豊田厚生病院脳神経外科部長 小倉 浩一郎	外科医会

愛知県医師会地域医療第二課(受付時間/平日9:00~12:00,13:00~17:00) 〒460-0008 名古屋市中区栄4-14-28 TEL 052-241-4143 FAX 052-241-4130

市民講座のご案内

- 演題: **あなたの腎臓、大丈夫?**
- 場所: 名古屋大学附属病院 講堂
- 日時: 10月31日(月) 13:00~15:00

【講演内容】
腎臓・腎不全 名古屋立大学 准教授 吉田篤博
透析 名古屋共立病院 副院長 春日弘毅
移植 社会保険中京病院 部長 辻 英和
ミニレクチャーと質疑応答
主催:愛知腎臓財団

【あて先】
(仮事務所)
〒461-0002
名古屋市中区代官町
39番15号
(平成22年7月より
平成24年6月まで)
名古屋医師会
「ヘルシーなごや」係
(FAX 052-937-6323)

名古屋医師会では、市民への健康広報誌として「ヘルシーなごや」を年2回発行しています。これからの紙面作りの参考にしたいと思っておりますので、自由にご意見・ご感想をお聞かせ下さい。
ご意見等をいただいた方より抽選で30名様に記念品を差し上げます。あなたの住所、氏名、年齢、電話番号をお書き下さい。締め切りは発行月の3か月後。

「ヘルシーなごや」の感想をお聞かせください。

年に1度は健診を受けましょう。

◎職場での健診を 考えている方

病気の早期発見、早期治療が大切です。年1回の健康診断は必ず受けましょう。35歳を過ぎたらメタボリックシンドロームにご注意。ご家庭でも腹囲を測りましょう。

①総合健診(人間ドック)

②全国健康保険協会管掌生活習慣病予防健診=政府管掌健康保険(社保)に加入の本人のみ対象。お申し込みは事業主から当センターにご連絡をいただきます。

③一般定期健康診断~職場健診は必ず受診しましょう=勤務先で行う労働安全衛生法に基づく定期健康診断。

④特定健診=被用者保険加入者のご家族、国保ご加入者対象。検査結果により、特定保健指導もいたします。

●お問い合わせ、お申し込みは
名古屋市医師会健診センター
TEL 052-937-8425

◎職場などで受診する機会のない方
お近くの医院、病院で毎年受けられます。

平成22年4月から名古屋市のがん検診がワンコイン(500円)になりました。

種類	対象者	負担金	診査内容
胃がん検診 (年度に1回)	名古屋市内居住の 40歳以上の方	500円	問診・胃部X線直接撮影
大腸がん検診 (年度に1回)	名古屋市内居住の 40歳以上の方	500円	問診・免疫便潜血検査(2日法)
肺がん・結核検診 (年度に1回)	名古屋市内居住の 40歳以上の方	500円	問診・胸部X線直接撮影 喀痰細胞診検査(3日蓄痰法:問診の結果に基づき必要に応じて)
前立腺がん検診 (年度に1回)	名古屋市内居住の 50歳以上の男性	500円	問診・前立腺特異抗原検査 (PSA検査)
子宮がん検診 (2年度に1回)	名古屋市内居住の 20歳以上の女性	500円	診察(問診、視診、内診)・細胞診・ コルポ診(医師の判断に基づき必要に応じて)
乳がん検診 (2年度に1回)	名古屋市内居住の 40歳以上50歳未満の女性	500円	問診・視診・触診 乳房X線2方向撮影
	名古屋市内居住の 50歳以上の女性	500円	問診・視診・触診 乳房X線1方向撮影
骨粗しょう症検診 (年度に1回)	名古屋市内居住の 40・45・50・55・60・ 65・70歳の女性	500円	問診・骨量測定
C型・B型肝炎 ウイルス検査	名古屋市内居住で過去に 検査を受けたことがない人	無料	HBs抗原検査・HCV抗体検査・ HCV抗原検査(HCV抗体検査の結果、 必要な場合のみ)・HCV核酸増幅検査 (HCV抗原検査の結果、陰性と判定された場合のみ)
名古屋市 国民健康保険 特定健康診査・ 特定保健指導	受診日現在、名古屋市 国民健康保険に加入している方で、 「特定健康診査受診券及び 利用券」をお持ちの方	無料	既往症の調査・理学的検査・身体測定・ 血圧測定・肝機能検査・血中脂質検査・ 血糖検査・尿検査・その他

※上記年齢につきましては、本年度中(4月1日から翌年3月31日)にその年齢に達する方を含みます。
※次に該当する場合は、自己負担金は無料(医療証・資格者証・証明書など確認書類が必要になります)
①70歳以上 ②生活保護世帯 ③市民税非課税世帯 ④障害者、ひとり親家庭等医療費
助成制度対象者 ⑤福祉給付金支給制度対象者 ⑥中国残留邦人等支援給付対象者

※詳細につきましては、健診を実施しているお近くの医療機関の受付、または名古屋市医師会(TEL 052-937-7801)までお問い合わせください。

待合室

皆さんは食と健康に関するこんな言葉をご存知でしょうか。職業柄普段から食と健康に関して興味を持って勉強している某ホテルの料理長から教えてもらったものです。

「まごわやさしい」という言葉です。その意味は、ま:まめ(特に大豆)、ご:ごま、わ:わかめ、や:やさい(特に色の濃いもの)、さ:さかな(青魚)、し:しいたけ、よう:ヨーグルトです。これらの中のいくつかを説明します。大豆は低カロリーでたんぱく質やカルシウム、鉄分を多く含むために栄養源として重要であり、さらに最近注目されている大豆イソフラボンは弱い女性ホルモン作用を認めることから、骨粗鬆症や更年期障害に有用性が期待されています。ごまは漢方薬としても用いられ、カルシウムやマグネシウムなどのミネラル、ビタミンA、B、E、たんぱく質、脂質(オレイン酸、リノール酸)などが豊富に含まれています。ヨーグルトに含まれる乳酸菌は下痢や便秘を改善させる整腸作用があります。いずれの食物もここでは書ききれないほどの体に良いとされている効能効果があった昔から日本人が好んで食べてきたものです。

今日は何を食べよう、何を作ろうと考えたときに、この言葉を思い出して料理を作ってみてください。いずれも健康や長寿に大いに役に立つ食物ですから、是非試してみてください。

(西区 M・A)